

# TOTO ヲオシユレットアブリコツト C1・C1A・C2・C2A・C3・C3A 施工説明書

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

## 安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

**警告** 誤った取り扱いをすると、「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物質的損害の発生が想定される」内容です。

○ このような絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。

● このような絵表示は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

## 警告

○ **浴室などの湿気の多い場所に設置しない。**  
(火災や感電の原因になります。)

○ **交流 100V 以外では使用しない。**  
(火災や感電の原因になります。)

● **アース (D種接地工事 100Ω以下) を確実に取り付ける。**  
アース接続 (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

○ **使用できる水は、上水及び飲用可能な井戸水 (地下水) のみ。**  
その他の井戸水 (地下水) や工業用水及び中水道に接続しない。  
 禁止 (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)

○ **漏電保護プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**  
禁止 (火災や感電の原因になります。)

● **漏電保護プラグは根元まで確実に差し込む。**  
(プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)

## 注意

○ **止水栓を開けたままで給水フィルター(付水抜栓)を取りはずさない。**  
禁止 (水が噴き出します。)

● **給水フィルターを掃除した後は、給水フィルター(付水抜栓)を確実に締める。**  
必ず守る (確実に締めないと水漏れの原因になります。)

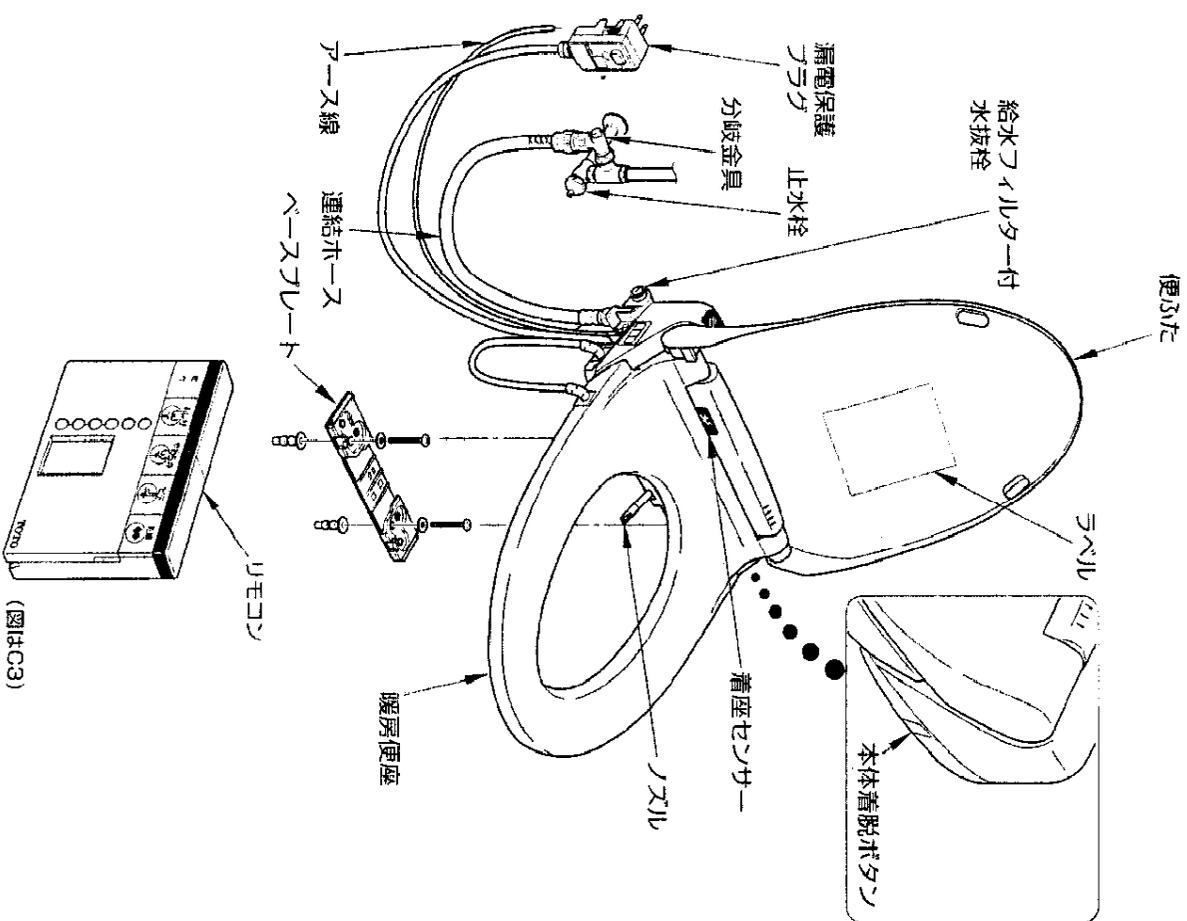
○ **連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。**  
禁止 (水漏れの原因になります。)

○ **便座・便ふたを持って製品を持ちあげない。**  
禁止 (本体がはずれて落下し、けがをさせる原因になります。)

## 取り付け前のご注意

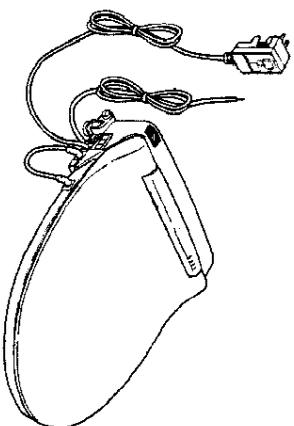
1. 電源は交流 100V (50/60Hz)、定格消費電力は 1274W です。必ずこの電力に適した配線をしてください。(専用配線をおすすめします。)
2. 電源コードの長さは 1m です。コンセントの位置はオオシユレットが着脱できる余裕を設けてください。
3. 給水圧力範囲は 0.05MPa ~ 0.75MPa です。この圧力範囲で使用ください。
4. 給水温度は 0 ~ 35℃ です。この温度範囲で使用ください。
5. 連結ホースの長さは 0.97m です。給水取り出し位置は、オオシユレットが着脱できる余裕を設けてください。もし連結ホースの長さが足りない場合は、**③** 連結ホースの接続の **②** 項に長い連結ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。
6. 製品への通電及び通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。

# 各部の名称

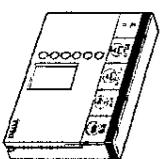


# 部品の確認

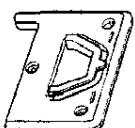
## 1 ウォッシュレット本体



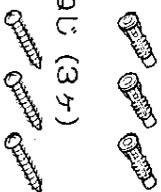
## 2 リモコン部品



リモコン(図はC3) リモコンハンガー



アンカープラグ (3ヶ)

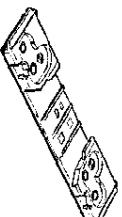


リモコン用乾電池 (単三形×2ヶ)



## 3 ベースプレート部品

ベースプレート (ヌツ) (1ヶ)



ボルト (2ヶ)



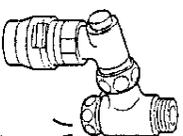
ゴムナツシユ (2ヶ)



座金 (2ヶ)



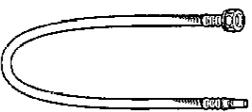
## 4 分岐金具



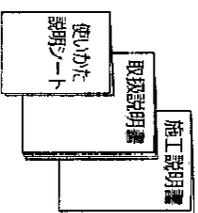
パッキン (2ヶ)



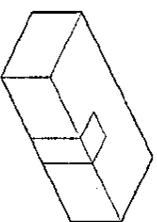
## 5 接続ホース (リバッキン付)



## 6 取扱説明書 (保証書付) 使用いた説明シート 施工説明書 (本書)



## 7 リモコン/便器洗浄ユニット (C1A・C2A・C3Aタイプのみ)



※箱の中に便器洗浄ユニットの部品及び施工説明書が入っています。

(図はC3)

# 取付方法

## 1 分岐金具の接続

### 一般のロータンクへ接続する場合

**1** 止水栓を閉め、給水管を取りはずす。

②上下のナットをゆるめる

③給水管を取りはずす

①止水栓をしめる

**2** 分岐金具を止水栓に取り付ける。

①袋ナットを止水栓に締め付ける

分岐金具

給水カマフラは、※給水カマフラは下に回ける

止水栓

袋ナット

止水栓

給水管

パイナカッター

差込部分10～15mmを必ず確保する

10～15mm

**POINT!**  
給水管の切断はパイナカッターを使用してください。切断後は切粉などを取り除いてください。

接続部にチーパリングを使用している場合

接続部にチーパリングを使用していない場合

給水管

袋ナット

チーパリング

パイナカッター

差込部分約10～15mm

分岐金具

給水管

袋ナット

スリットナット

ゴムパッキン

差込部分約10～15mm

分岐金具

**POINT!**  
部品の順番、向きを間違えないでください。

### 4 給水管を取り付ける。

①ロータンク（ポールタンク）側の袋ナットを締め付ける

②分岐金具側の袋ナットを締め付ける

袋ナット

分岐金具

給水管

止水栓

**注意**  
ポールタンク本体が回らないようにしっかりと持って袋ナットを締めてください。ポールタンクが傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。

袋ナット

ポールタンク本体

ロータンク

### ワンピース便器へ接続する場合

**1** 止水栓を開める。

**2** ふさぎふたとゴムパッキンを取りはずす。

ワンピース便器

ゴムパッキン

ふさぎふた

止水栓

**3** 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎふたとゴムパッキンを取り付ける。

ふさぎふた

ゴムパッキン

止水栓

分岐金具

パッキン（付属品）

### フラッシュバルブへ接続する場合

フラッシュバルブへ接続する場合は、別売品のTH484（フラッシュバルブの給排水心120mm用）又はTH484-1（低圧フラッシュバルブ用）が必要となります。お求めはTOTOPーツセンター ☎ 0120-8282-55へお電話ください。

### 右給水の隅付タンクへ接続する場合

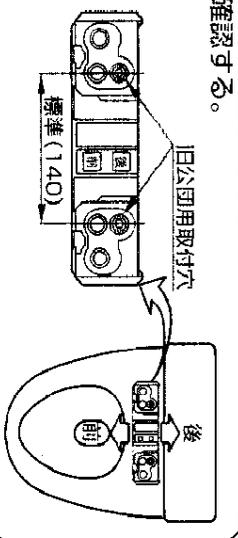
隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、連結ホースが短いので別売品のTCA58が必要となります。お求めはTOTOPーツセンター ☎ 0120-8282-55へお電話ください。

## 2 便器への取り付け

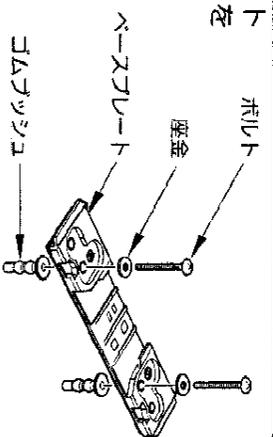
### 一般の便器への取り付け

1 ベースプレートを取付方向を確認する。

**POINT!** 前面と表示している面が表側です。前面と表示している方を便器の先端側に向けます。

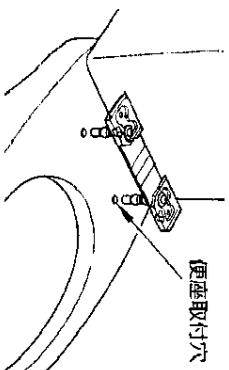


2 ベースプレート表側から座金・ボルトを差し込み、裏側からゴムワッシュを5〜6山程度ねじ込む。



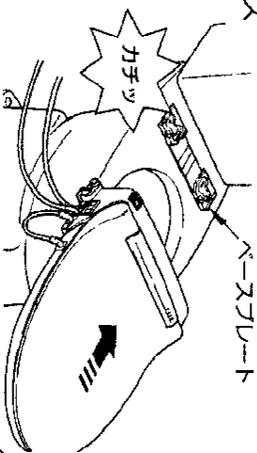
3 ゴムワッシュを便座取付穴に差し込み、上面からドライバーでボルトをかける締めしておく。

**POINT!** ゴムワッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。



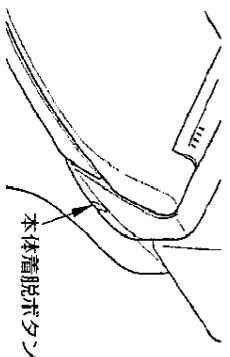
4 本体を「カチツ」と音がするまでベースプレートに押し込む。

**POINT!** 本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。



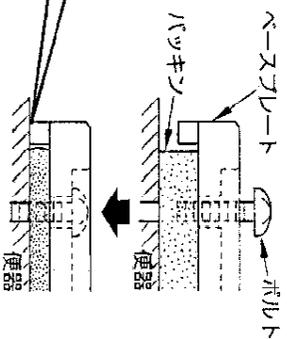
5 本体がまっすぐに取り付くことを確認し、いったん本体を取りはずす。

**POINT!** 本体は本体着脱ボタンを押したまま手前に引くとはずせません。



6 ベースプレートが便器にあたるまでボルトをしっかりと締めた後、再び本体を「カチツ」と音がするまで押し込む。

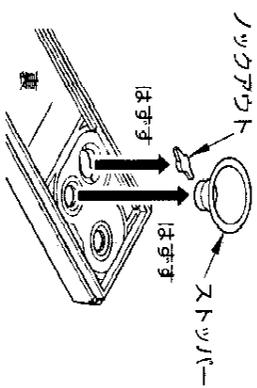
**POINT!** パッキンがつぶれて、ベースプレートが便器にあたるまで締め付けてください。



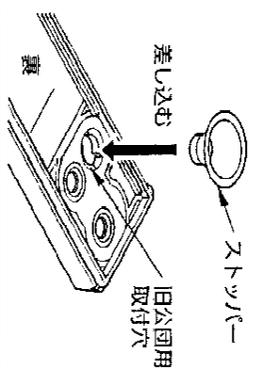
※ 本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタツキが発生します。(これは、本体ワッシュ着脱方式を行うために設けたスライド部の隙間によるもので、異常ではありません。)

### 旧公団用便器への取り付け

1 ストッパーをはずし、ノックアウトを取りはずす。



2 ストッパーを旧公団用の穴へ付け替える。

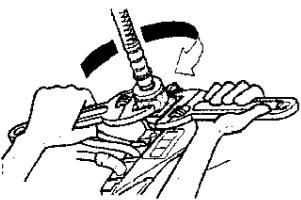


### 3 連結ホースの接続

1 ウォッシュレット本体の給水口に連結ホースの袋ナットを締め付ける。

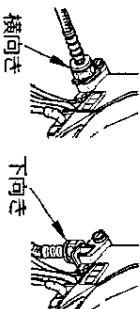
#### △ 注意

必ず給水口をモンキーレンチで固定して連結ホースを接続してください。  
(無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。)



#### POINT!

ウォッシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。  
ワッパース便器の場合は給水口を横向きにしてください。



2 連結ホースのラテック側を分岐金具の給水カプラに差し込む。

POINT! 「カチツ」と音がするまで差し込んでください。

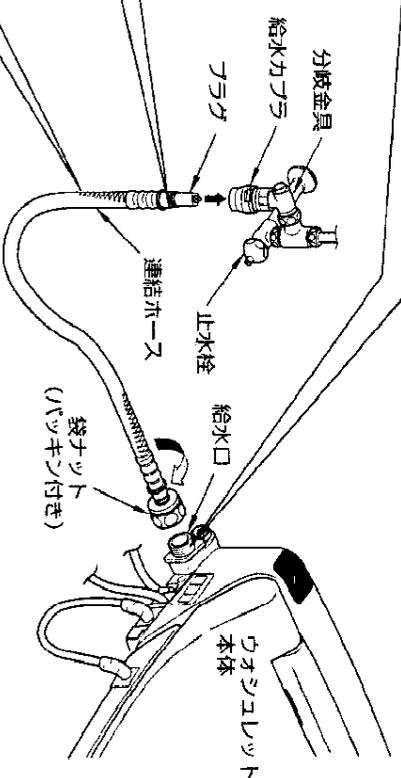


3 連結ホースを取り付けた状態で、本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する。

※ 連結ホースの長さが足りぬときは下記の表中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同製品の連結ホースの長さは0.97mです。) お求めはTOTOパーセンタール0120-8282-55へお電話ください。

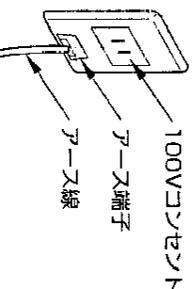
連結ホース長さ違い一覧表		
連結ホース長さ (m)	品番	
1.18	D24009ZRt5	
1.48	D24009ZRt6	
1.98	D24009ZRt7	

※ 分岐金具の給水カプラは一時止水機能付ですが、連結ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。



### 4 アース線の接続

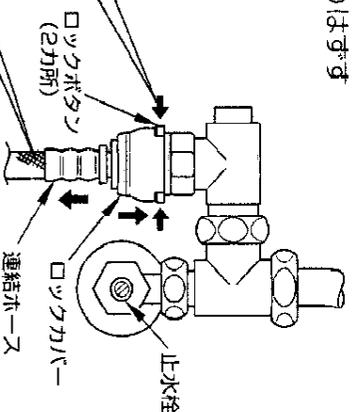
• アース線をコンセントのアース端子に接続する。  
※ アース端子が無い場合は電気工事店にご相談ください。



#### 連結ホースのはずしかた

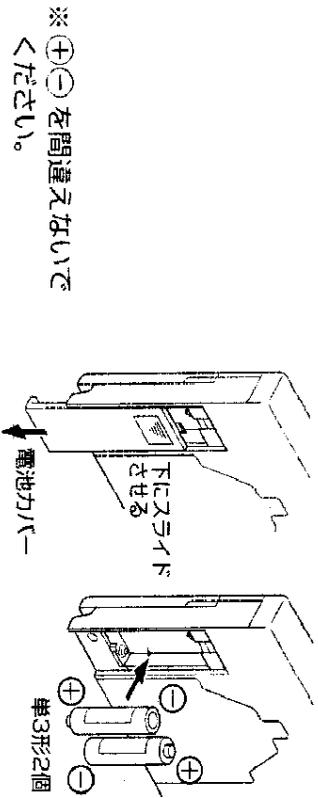
※ 施工のやり直しなどで連結ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

- 1 止水栓を閉める。
- 2 ロータンクの水を流す。
- 3 ロックボタン (白色の突起部2カ所) を押し下ろし、ロックカバーを引き上げる。
- 4 ロックカバーを引き上げたまま連結ホースを引き抜く。



# 5 リモコンの取り付け

1 電池カバーを開け、リモコンに電池を入れる。



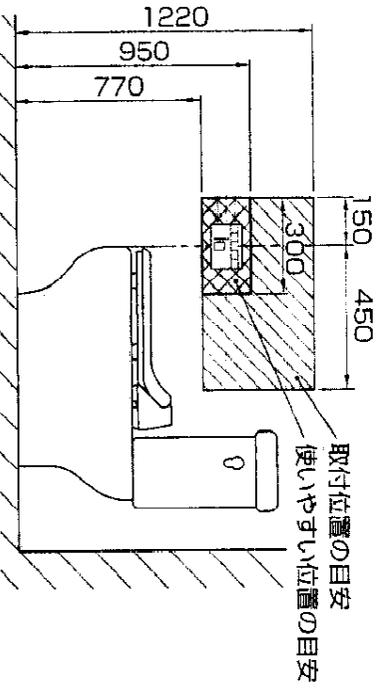
※ (+) (-) を間違えないでください。

2 リモコンの取付位置を決める。

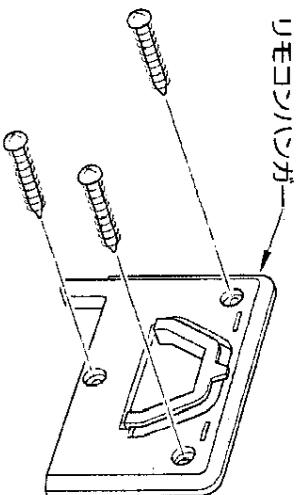
## 注意

※ 取り付けにあたっては、取付予定位置でリモコンを操作して、おしり洗浄が働くことを確認してください。  
 ※ さらさらリモコンを併設する場合は、さらさらリモコンの施工説明書をご確認のうえ、取り付けてください。

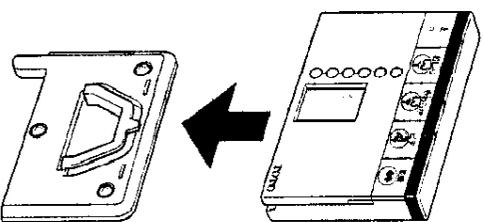
▨ のところが取付位置の目安です。  
 ▣ のところが使いやすい位置の目安です。



3 リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける。



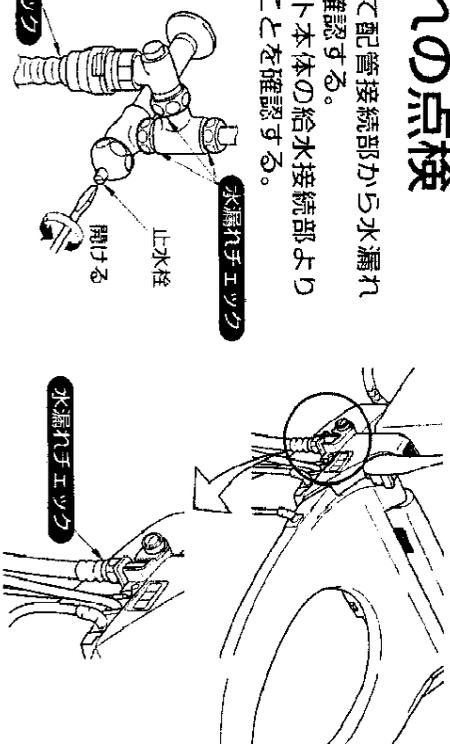
4 リモコンをリモコンハンガーにセットする。



●取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。

## 1 水漏れの点検

- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する。
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する。



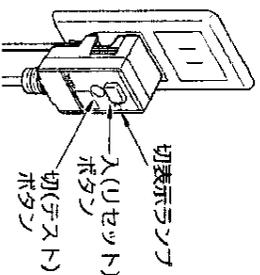
## 2 漏電保護プラグの確認

- 1 漏電保護プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む。

**CHECK!** ノズルが一旦出て戻る初期動作を行うか確認してください。

- 2 漏電保護プラグが正常に作動することを確認する。

**CHECK!** 切 (テスト) ボタンを押す → 切表示ランプ点灯入 (リセット) ボタンを押す → 切表示ランプ消灯以上の動作であれば正常です。切表示ランプが点灯している状態では通電されません。テスト後は必ず入 (リセット) ボタンを押してください。

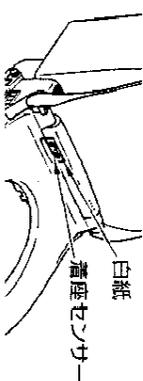


**POINT!** 漏電保護プラグを落下させてしまった場合などに切表示ランプが点灯する場合があります。入 (リセット) ボタンを押してください。

## 3 機能の確認

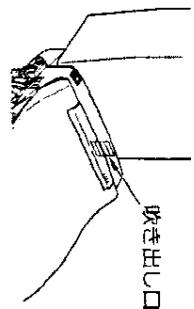
- 1 着座センサーを白紙でおおう。

**POINT!** 着座センサーを白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。(便座を閉めないで着座センサーははたらきません。)



- 2 脱臭機能を確認する。

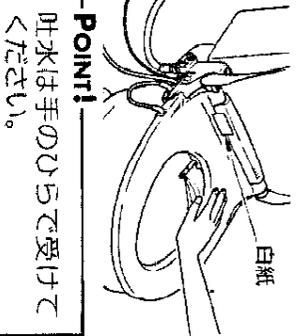
**CHECK!** 本体の背面右側の吹出口より風がでていますか?



- 3 洗浄機能を確認する。

**CHECK!**

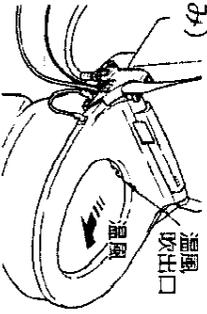
- [WASH] を押すとノズルから適温の温水がでますか?
- 水勢調節スイッチ [WASH] を押すと水勢が変化しますか?
- 本体から水漏れはありませんか?
- [WASH] を押すと止まりますか?



- 4 乾燥機能を確認する。(C2・C2A・C3・C3Aのみ)

**CHECK!**

- [DRY] を押すと温風がノズルの右側からでますか?
- [DRY] を押すと止まりますか?



- 5 暖房便座機能を確認する。

**CHECK!**

便座があたたまるまで約15分かかります。

- 6 着座センサーの白紙をはずす。

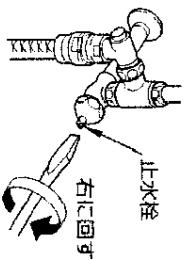
# 給水フィルター掃除

● 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。  
(給水フィルターにごみが詰まると、おしり・ピテ洗浄時の水勢が弱くなります。)

1 止水栓を閉めて給水を止める。

**△ 注意**

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。  
(水が噴き出します。)



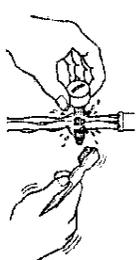
2 給水フィルター付水抜栓を左に回してゆるめた後、引っ張ってははずす。

給水フィルター付水抜栓



3 給水フィルター及び先端部を水洗いする。

● 小さなおゴミは歯ブラシなどで確実に取り除いてください。



4 給水フィルター付水抜栓を押し込み、右に回して止まるまで確実に締める。



**△ 注意**

給水フィルター付水抜栓は確実に締める。(確実に締めないと水漏れの原因になります。)

5 止水栓を開ける。

6 給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する。

# 凍結のおそれがあるときの処置

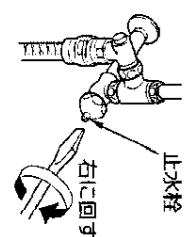
● お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため、次の要領で水抜きしてください。(漏電保護プラグは差し込んだままにしてください。)

1 ローソクの水を抜く。

● 止水栓を閉めて給水を止めてください。

**△ 注意**

止水栓を開けたまま給水フィルター付水抜栓をはずさない。  
(水が噴き出します。)

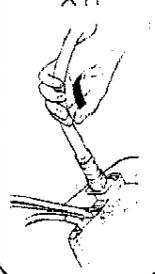


2 配管の水を抜く。

● 給水フィルター付水抜栓をはずれるまで左に回した後、引き抜いてください。

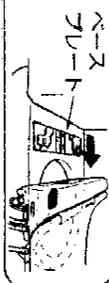


● 連結ホースを持ち上げて、ホース内の水を抜いてください。(30m程度)



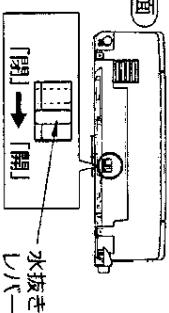
3 本体を便器から取りはずす

● 水抜きレバーの操作は、本体を便器からはずした状態でないとできません。  
● 取りはずした本体は便器上面の前側に置いてください。(右図参照)



4 水抜きレバーを「開」位置にする。

本体背面

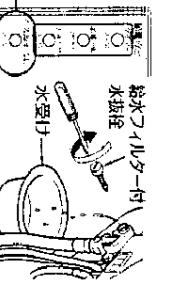


● 本体下側から水(40mm程度)が便器内に出たあと、さらにノズルの水抜きのため、自動的にポンプが作動します。  
● 本体を傾けたらしないでください。  
(※ 本体の便器の外に出ることがあります。)

5 水抜きレバーを「閉」位置にする。

給水フィルター付水抜栓

● 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を押し込み、右に回して確実に締め、もう一度ノズルをうじすスイッチを押す。  
(製品内部の残水)を押す



**△ 注意**

給水フィルター付水抜栓は確実に締める。  
(確実に締めないと水漏れの原因になります。)

# 工事店様へ

取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。必ずお客様にお渡しするまでに時間があるときは、漏電保護プラグを抜いておいてください。ウォッシュレットの機能・使いかたについてお客様に説明してください。